

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2023年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」阪急茨木校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数は適切であるか	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		身長に合わせて必要な子供用の机を検討していく。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			新しくできた事業所のため、まだ載せていないが、他事業所は載せている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			ガルーンでスペースを作るなど指導員に研修を受ける機会の確保に努めている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者の話を聞き、個別支援計画作成を行っている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			子供に応じて変えている。子供の成長に合わせて支援の設定を行っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			集団活動が少ないと感じるため、イベントの回数は増やしていく。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		子どもの様子を見ながら適宜行う。支援内容の共有が少ないと感じるため、今後機会を増やしていく。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		必要であれば行っている。基本は指導員から気になったことや話を聞いてほしいときに話を聞いている。伝えることに抵抗のない習慣

					を作っている。支援終了後に全員がそうすることがあまりないので、一部の職員間での共有になっている点を改善したい。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		気になったことなど些細なことでも記入するように伝えている。誰が記録を読んでも、その日の支援の振り返りができるように記入している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		変化や保護者の表情や態度の変化を感じれば声掛けをさせていただき、見直しなどもさせていただいている。モニタリングも6か月に1度は行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○		
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		管理者と指導員が参画できるように調整している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		保護者より相談していただけるように、指導員や管理者から声掛けの方をさせていただいている。必要に応じて学校での学習内容については共有していただいているが、行事などについては保護者から聞くことが多いようだ。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		必要に応じて行っている。保護者や幼稚園などからの要望があれば伝えさせてもらっている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		気になったことや、例え何も話がなくても声掛けをし、保護者との連携を図れるように行っている。

	⑳	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		
保護者への説明責任等	㉑	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	㉒	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			話をしていただけるように声掛けをさせていただいている。
	㉓	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		ママカフェを開催予定しており、今後は保護者同士の交流も検討するが、コロナ禍でもあるため、希望があれば行っだろう。
	㉔	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			現在、苦情になりそうな状況になる前に保護者に声掛けや指導員に声掛けをして未然に防いでいる状態。信頼関係の構築で防いでいる部分が多いと考えられる。
	㉕	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			LINE やブログなどで情報をお伝えしている。
	㉖	個人情報に十分注意しているか	○			子供の名前が書いている者に関しては他の人には見せない、シュレッダーを必ずすることなどを徹底されている。
	㉗	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			指導員に情報共有を徹底している。
	㉘	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	コロナ禍と利用者からの要望がないため行っていない。
	非常時等の対応	㉙	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		
㉚		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			1ヶ月に1度、指導員と共有し、未然に起きた時の行動をシミュレーションしている。
㉛		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
㉜		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
㉝		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		

④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		起こった場合は朝のミーティングなどでの共有と今後起こらないように対策も話をしている。
----	----------------------------	---	--	--

### 保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2023年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」阪急茨木 校 保護者等数（児童数）： 24 回収数： 11 割合： 45.8 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11			
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	9	2		
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	5		
適切な支援の	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 <sup>i</sup> が作成されているか	10	1		
	⑤	活動プログラム <sup>ii</sup> が固定化しないよう工夫されているか	10	1		子供の様子を見ながら、療育課題を準備しているので、子供も取り組みやすいようにしている。

提供	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		4	7	時間が1時間ということもあり、難しい。 個別療育のため、そういったことを求めている。 コロナ禍のため行っていない。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	10	1		
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10	1		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		5	6	コロナ禍ということもあり、難しい。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	4		そのようなことがないのでわからない。 苦情を聞いたことはない。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10	1		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	9	2		空きコマ情報等も発信していただき、追加利用もしやすい。
非常時等の対応	⑭	個人情報に十分注意しているか	10		1	
	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9	1	1	
満足度	⑯	子どもは通所を楽しみにしているか	10	1		
	⑰	事業所の支援に満足しているか	10	1		まだわからない。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

